

第5号様式

届出年月日を必ず記入（2週間以内に届出必要）

一級  
二級  
木造

建築士事務所登録者と同じ内容（開設者が変更になる場合は新しく就任する開設者）を記入し、押印してください。

- ◎法人：法務局に登録されている代表取締役印を押印
- ◎個人：氏名を自署で記載する場合には、押印を省略できます。

建築士事務所登録事項変更届

私は、このたび登録事項に変更を生じたので、建築士法第23条の5第1項の規定により届けます。

平成25年 1月18日 (開設者) 住所 三重県津市広明町\*\*番地

〇〇株式会社 代表取締役 @ @ 一郎

代表印  
社印

建築士事務所登録番号 三重県知事登録第1-〇〇〇〇号

三重県知事  
三重県指定事務所登録機関  
一般社団法人 三重県建築士事務所協会 会長 あて

「変更前」欄には変更前の登録事項をすべて記入し、「変更後」欄には変更する事項のみを記入ください。なお、「その他」の欄は、開設者（個人）の氏名の変更時に使用下さい。

	変更前	変更後	変更年月日
ふりがな 名称	〇〇株式会社 一級建築士事務所		
所在地	〒514-**** 三重県津市広明町**番地 電話番号 059 (*** )****	〒 電話番号 ( )	
管理建築士氏名 (免許証番号)	□□ 太郎 (****)	@ @ 一郎 (****)	H25. 1. 7
所属建築士氏名	□□ 太郎 ○○ 英世 ○○ 二郎 ◎◎ 花子 @ @ 一郎 △△ 二郎	@ @ 一郎 ○○ 英世 □□ 太郎 ◎◎ 桜子 ○○ 二郎 △△ 二郎	H25. 1. 7
役員 (氏名・役名)	代表取締役 □□ 太郎 取締役 @ @ 一郎 取締役 ○○ 花子 監査役 △△ 二郎	代表取締役 @ @ 一郎 取締役 □□ 太郎 取締役 ○○ 花子 監査役 △△ 二郎	H25. 1. 7
その他			
※ 受付		※ 名簿整理年月日	

- ※印欄は記入しないで下さい。
- 変更前欄には登録事項をすべて記入し、変更後欄には該当事項のみ記入してください。
- 開設者氏名の記載を自署で行う場合（法人による申請を除く）にあつては、押印を省略することができます

- ①管理建築士を筆頭に建築士事務所に所属する建築士全員の氏名、登録番号を、また二級・木造建築士の方は、免許登録を受けた都道府県名も記入してください。
- ②下欄には、建築士の合計人数を記入してください。

第6号様式

所属建築士名簿

ふりがな氏名	一級建築士、二級建築士又は木造建築士の別	登録番号	登録を受けた都道府県名(二級建築士又は木造建築士の場合)	構造設計一級建築士又は設備設計一級建築士である場合にあつてはその旨	構造設計一級建築士証又は設備設計一級建築士証の交付番号
@@ 一郎	一級建築士	*****			
□□ 太郎	一級建築士	*****			
○○ 二郎	一級建築士	*****			
○○ 英世	一級建築士	*****			
◎◎ 桜子	二級建築士	****	三重県		
△△ 二郎	木造建築士	*****	三重県		
計 6 名			一級建築士	4 名	
			二級建築士	1 名	
			木造建築士	1 名	
			構造設計一級建築士	名	
			設備設計一級建築士	名	

開設者が管理建築士を兼ねる場合は両方に○で囲んでください。この場合、次頁の管理建築士の略歴書は不要です

第7号様式

略 歴 書 (開設者・管理建築士)

(記入注意)

1. 氏名の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができます。
2. 職歴の欄は、最近のものから順次記入して下さい。
3. 勤務先の欄は、自家営業の場合には自営と記入してください。

法人の代表者の場合でも個人印を押印ください。

氏 名		@@ 一郎 印		生年月日	昭和43年*月*日
住 所		〒510-**** 三重県鈴鹿市西条5丁目***		二級・木造建築士の方のみ、免許登録した都道府県名を記入ください。	
建築士の資格		<input checked="" type="checkbox"/> 一級建築士 <input type="checkbox"/> 二級建築士 <input type="checkbox"/> 木造建築士 <input type="checkbox"/> なし	登録番号	*****	
				登録を受けた都道府県名(二級建築士又は木造建築士の場合)	
学 歴	年 月 日	学校名及び学科名		卒業・修了・中退の別	
	平成3年3月20日	津工業高校建築科		卒業	
最終学歴のみを記入し、学部、学科名まで記入ください。		免許証の登録番号を記入			
記入例を参考に、学校を卒業してから登録申請日までの職歴を、最近のものから順次、もれのないように全て記入ください。					
職 歴	期 間	勤 務 先		地 位・職 名	
	年月～年月				
	平成25年1月～現在	〇〇株式会社		代表取締役(管理建築士)	
	平成18年5月～平成24年12月	〇〇株式会社		設計部設計課長	
	平成16年4月～平成18年4月	@@ 土建株式会社		工事課長	
	平成11年6月～平成16年3月	@@ 土建株式会社		工事係長	
	平成3年4月～平成11年5月	@@ 土建株式会社		工事課技師	

第8号様式

( 開 設 者 )

誓 約 書

開設者（営業に関し成年者と同一の行為能力を有しない未成年者でその法定代理人（法定代理人が法人である場合においては、その役員を含む。）及び開設者が法人である場合における当該法人の役員を含む。）が下記のいずれにも該当しないことを誓約します。

平成25年1月18日

必ず記入してください。

開設者氏名 ○○株式会社 代表取締役 @@一郎 ( 代表印名 )

三重県知事
三重県指定事務所登録機関
一般社団法人三重県建築士事務所協会 会長

◎法人の場合
法人の名称、代表取締役の氏名を記入し、法務局に登録されている代表取締役印を押印してください。
◎個人の場合
氏名を楷書で記入し、個人印を押してください。
(氏名を自署で記載する場合は、押印を省略できます。)

- 1. 破産手続開始の決定を受けて復権を得ない者
2. 成年被後見人又は被保佐人
3. 禁錮以上の刑に処せられて、その刑の執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から5年を経過しない者
4. 建築士法の規定に違反して、又は建築物の建築に関し罪を犯して罰金の刑に処せられ、その刑の執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から5年を経過しない者
5. 建築士法第9条第1項第4号又は第10条第1項の規定により一級建築士、二級建築士又は木造建築士の免許を取り消され、その取消しの日から起算して5年を経過しない者
6. 建築士法第26条第1項又は第2項の規定により建築士事務所について登録を取り消され、その取消しの日から起算して5年を経過しない者（当該登録を取り消された者が法人である場合においては、その取消しの原因となった事実があった日以前1年以内にその法人の役員であった者でその取消しの日から起算して5年を経過しない者）
7. 建築士法第26条第2項の規定により建築士事務所の閉鎖の命令を受け、その閉鎖の期間が経過しない者（当該命令を受けた者が法人である場合においては、当該命令の原因となった事実があった日以前1年以内にその法人の役員であった者でその閉鎖の期間が経過しない者）
8. 建築士事務所について建築士法第24条第1項及び第2項に規定する要件を欠く者
9. 禁錮以上の刑に処せられた者（3に該当する者を除く。）
10. 建築士法の規定に違反して、又は建築物の建築に関し罪を犯して罰金の刑に処せられた者（4に該当する者を除く。）

(記入注意)

- 1 開設者が法人である場合には、法人の代表者の氏名を併せて記載してください。
2 3から7まで、9又は10のいずれかに該当するときは、該当事項を抹消し、かつ、上欄にその事実をできるだけ詳細に記入してください。

第2号様式

( 管理建築士 )

誓 約 書

私は ○○株式会社一級建築士事務所 の管理建築士として専任することを誓約いたします。

平成25年1月18日

氏名 @@ 一郎 ( 署 名 )

三重県知事
三重県指定事務所登録機関
一般社団法人 三重県建築士事務所協会 会長 あて